

平成24年度  
第1回 温海地域審議会  
会議録（概要）

期日：平成24年5月24日（木）

場所：鶴岡市温海庁舎 6階大会議室

## 平成24年度 第1回温海地域審議会 会議録

- 期 日 平成24年5月24日(木)午後2時～
- 場 所 鶴岡市温海庁舎 6階大会議室
- 出席委員 奥井厚委員、佐藤重夫委員、柴田実委員、橋本忠志委員、五十嵐孝昭委員  
佐々木真人委員、佐藤美代子委員、三浦喜一郎委員、佐藤隆委員  
斎藤徹委員、五十嵐淳子委員 11名
- 欠席委員 本間澄男委員、本間満委員、齋藤守峰委員、榎本五郎治委員、剣持孝一委員  
五十嵐英夫委員、五十嵐安貴委員、鈴木義一委員、佐藤容介委員 9名
- 市側出席者  
〈温海庁舎〉  
支所長 伊藤彦市  
総務企画課長 本間節子、総務企画課主幹 石塚みさ、市民福祉課長 富樫達男  
産業課長 五十嵐勇一、観光商工主幹 粕谷一豊、建設事務室長 庄司又兵衛  
税務事務室長 丸山和男、総務企画課課長補佐兼コミュニティ防災主査 三浦市樹  
総務企画課総務地域振興主査 五十嵐浩一  
総務企画課総務地域振興主査 鶴見美由紀
- 〈本 所〉  
企画部地域振興課 地域振興専門員 三浦裕美  
企画部地域振興課 主任 前田哲佳
- 次 第
- 【辞令交付】**
1. 開 会
  2. あいさつ
  3. 報 告
    - (1) 平成24年度予算及び主な事業の概要について
    - (2) 提言書について
    - (3) その他
  4. 協 議
    - (1) 平成24年度温海地域審議会の内容について
    - (2) その他
  5. その他
    - (1) その他
  6. 閉 会

## 1. 開会（午後2時）（総務企画課長）

## 2. あいさつ

○**奥井厚会長** 皆さんこんにちは。平成24年度の第1回目の温海地域審議会大変ご苦勞様です。出席予定でまだ見えていない方もいるようですが。去年まで皆さんと一緒に相談をしながら3つのテーマについてまとめてきたわけですが、その中身について今日庁舎のほうから説明もいただきますし、平成24年度の鶴岡市の概要も出てきたということで、鶴岡市が合併して7年目に入っているわけですけれども、庁舎をはじめとして機構改革も大分進んでいますし、我々の地域としても少子高齢化がどんどん進んでいます。これに向かった対応も温海地域の審議会の中でも進めていかなければならない喫緊の課題ではないかと考えています。皆さんからはそういうことを頭に入れながら今後の審議会を進めていただければありがたいと思います。今日は大変忙しい中ではありますが開会したいと思いますのでよろしくご協議いただきたいと思います。大変ご苦勞様です。

○**支所長** 皆さんこんにちは。委員の皆様には何かとお忙しい中ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。まず温海地域長年の願いでありました県道余目温海線7号タッチと日沿道鶴岡・温海間の3月中の開通を皆様方とともに心からお祝い申し上げます。これらの道路の開通は沿岸部の交通状況を大きく変え、また日常生活にも大きく影響しているものと思います。特に開通後1ヶ月以上が経過しまして温海地域の経済状況も大きく変化しております。今後道路という社会資本にどのように魂を入れていくか、どう活用していくか、また残された日沿道県境区間の10数年後の全線開通までにこの温海地域をどのように印象付けていくのか、また日東道の全線開通後に単なる通過点になるか、さらに発展していくか、これからの10年にこの温海地域の存亡がかかっている、とそのような言っても過言ではありません。今温海庁舎ではこの10年後を見据えた温海地域活性化のため、課を越えた体制でプロジェクトチームを立ち上げ、戦略会議を開催している状況です。地域の活性化は我々行政だけでは到底不可能でございますし、皆さんと一緒に、一体となって進めなければならないものと考えております。皆様におかれましては今後とも市政万般にわたりご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

前置きが長くなりましたが、皆さんからは平成22年度、23年度この2ヵ年にわたりまして地域課題や地域の活性化について提言していただき、その中で3つのテーマに沿って意見を頂戴いたしました。その意見をまとめていただき、昨年12月に温海地域審議会からの提言として提言書をいただいております。皆さんからの提言については今後の施策に反映させていただきたいと思っておりますし、このあと説明させていただきますが、平成24年度の温海地域の主要事業にも反映させていただきました。委員の皆様におかれましては、2年間の任期ということで6月9日までとなっておりますが、引き続きお願いする方もございますので、その節はよろしく申し上げます。この後今年度の審議会の進め方等々について説明いたしますけれども、私どもといたしましては委員の皆様方より意見が出しやすい会議になりますよう心がけてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

私のほうから最近の温海地域の動きについて若干触れたいと思いますけれども、まず一つは鶴岡市行財政改革の関係でございます。これは昨年5月に実施計画ができて、ただいま目標年次に向けて粛々と進めております。特に温海地域では公共施設の民間譲渡の部分が大きな課題なのかなと考えております。各自治会とも話し合いを行いまして、課題などを拾い出しております。また24年度は庁舎の組織体制が大きく変わりました。組織体制については3月の末に広報臨時号で全戸配布させていただきましたが、皆さんの手元に資料が配布されておりますけれども、その体制としては従来の総務課と分室の教育課が統合されて総務企画課となりました。分室の教育課は廃止となっております、その中で総務課で担当しておりました消防団事務については消防本部に移管されております。また、市民福祉課については、税務部門を外して環境部門を加えて市民福祉課と、名称は同じでございます。産業課については温海の場合は地籍調査がありますので、建設のほうから地籍調査を産業課に移管しまして名称は同じく産業課です。庁舎の機能としては、総務企画課、市民福祉課、産業課の3課体制でございます。この3課に本所管轄の税務と建設関係、この2つについてはブロック化となっております、藤島と羽黒、櫛引と朝日、この4つの庁舎についてはそれぞれ2つの庁舎に一つずつ配置となっております。温海については、税務、建設とも単独で配置されております。そしてスポーツ課の職員については教育委員会スポーツ課管轄で庁舎駐在となります。温海の場合ふれあいセンターに2名が配置されております。今年度温海庁舎の職員配置は庁舎とふれあいセンターに65名、給食センターに1名、学校に6名の計72名でございます。給食センターについては調理部門を今年度から民間のほうに業務委託しております。1名は事務職の1名でございます。昨年度より12名が減、合併前の135名と比較しますと63名の減となっております。また昨年に鶴岡市学校適正配置検討委員会により鶴岡市における適正な小中学校の学区に関する提言がなされ、市、並びに市教育委員会としては基本計画を策定し、既に中学校区単位での説明会が開催されております。その中で地域検討委員会が設置されました。委員長には奥井会長が就任され会議が開催されております。そして複式学級のある五十川小学校、福栄小学校、山戸小学校区では地域ごとに話し合いが何回となく既にもたれております。また平成23年度末を以って閉校となりました県立鶴岡中央高校温海校の閉校後の利活用については、鶴岡市としては有効な活用方法を見出すことができませんでした。そのため県の教育庁に対して無償譲渡は受けない旨の回答をしております。しかし最近になって民間による利活用による動きがありますが、まだ具体的な企画書等が提出されておられませんので詳細な説明は差し控えさせていただきます。それから庄内総合支庁建設部温海支所については3月31日を以って廃止となりました。くしくも3月31日午後5時30分、一霞・温海川間が崩れましたけれども、既に職員はいない状況であり、その夜から通行止めということで、現在も夜間10時から朝の4時まで全面通行止め、日中は片側交互通行となっております。温海支所の廃止の理由としましては温海川ダムの管理が遠隔操作により可能となったことが挙げられておりますけれども、温海地域としては除雪も含めた県道管理、さらには災害時の対応について従来と変わらぬ迅速な対応と今まで以上の連携を強く要望しているところでございます。特に道路関係では今後国、県、警察等と連携を密にするための連絡会議的なものを立ち上げていきたいと考えており、既に国

交省の主導で最近会議を行っております。最後になりましたけれどもようやく春らしくなり、天気も続くようになりました。遅れ気味であった農作業も何とか挽回できる状況まで来たのかなと思っております。今年に入って3件の火災が発生しております。例年のように梅雨時には自然災害も心配されるところでもございますし、最近の道路状況が大きく変化しまして交通事故の増加も心配されるところでございます。皆さんにおかれましては、事故等には遭わないように、また健康には十分留意されまして今年度も活発な意見交換をお願い申し上げます。6月9日までの任期ということで、ありがとうございました。冒頭申し上げましたように、再度お願いされた場合には快くお引き受けいただきますようお願いしてあいさついたします。

**【委員紹介】**（総務企画課長）  
（市側出席者自己紹介）

### 3. 報告（議長：奥井厚会長）

○**奥井厚会長** それでは3の報告に入ります。はじめに（1）の平成24年度予算及び主な事業の概要について説明をお願いします。

－ 資料説明 －  
総務企画課長  
総務企画課主幹  
市民福祉課長  
産業課長  
観光商工主幹  
建設事務室長

○**奥井厚会長** ただいま各課長、支所長のほうから報告をいただいております。委員の皆さんからご質問、ご意見がございましたら発言をお願いしたいと思います。

○**橋本忠志委員** 1ページの旧念珠関中学校の解体工事についての括弧書きの、跡地の市有地の売却決定次第という文面が入っておりますけれども、この推移、今後の見込みというか、これを少し説明いただければと思います。

○**総務企画課長** 総務企画課のほうからお答えさせていただきます。この件につきましてはここに書いたように売却が決定次第ということですが、やはり売却するためには相手方も必要です。今こちらとしては旧グラウンドを使用しております「グループホームねずがせき」にお話を進めているという段階です。ただ、この解体につきましては、設計、解体して更地にするまでは期間がかなりかかりますので、現在売却が決まらないうちに更地にして、状態が良くなってから売却をする。もし「グループホームねずがせき」とお話が決まらなかった場合でも、

更地にしてきれいな状態のほうが売れるのではないだろうかと考えております。今そのような方法で進めたいということで検討中でございます。

○佐藤美代子委員 ただいまの件ですが、売るといのが前提なのでしょうか。売らないでそこを何かの地域住民たちの憩いの場にする考えはないのでしょうか。瓦なども落ち始めているので、散歩コースともなっておりますので早急に解体をして、眺めの良いところですので、何か住民のための安らぎの場にする計画はないのでしょうか。

○総務企画課長 現在のところは解体に費用が相当かかるものですから、市としては売却を考えております。ただ今おっしゃられているように、この間の低気圧の関係でも瓦なども落ちておりますし、大変危険な状態となっておりますので、早めに解体するような形で進めたいと考えております。

○橋本忠志委員 プライベートなことですが、私は念珠関中学校の同窓会の会長をしております、4,000人の基金もまだ残金もあるということで、これは同窓会としては、長年の夢というか、今佐藤さんがおっしゃいましたように、あの場所を公園化するなどして前々から閉校する時点で残してもらいたいと、卒業生の憩いとか思い出とか、風光明媚なところもありますので、再三閉校するときも地域としても、同窓会としてもいろんな形で要望している経過もありましたので、今急に解体して売却ということで、あまりにも早急な考え方というか、返答ではないかと思われますので、今一度、地域あるいは、皆さん、特に鼠ヶ関地域ですけれども、観光ということもありますし、貴重な土地でもございますので一考いただければ、細かい話ではありますが要望させていただきます。

○総務企画課長 そういった経過もあるということはこちらでもお聞きしております。また事情も詳しくお聞きしながら、そういったご意見もあるということで検討してまいりたいと思います。

○佐藤重夫委員 3ページの21番、焼畑温海かぶの、ということでこれは当然この地域の特産ですので、本来であればいまさら出る問題ではないのですけれども、やっぱり、どんどん杉の伐採跡の本来の温海かぶというものがどんどん少なくなって、本来のかぶに戻すにはどうするかということで大変重要なことだと思います。今ブランドという点では田川の方がどんどん名を高めてきているという中で、是非この辺については少ない特産品の開発のために行っただけならばと思いますし、我々森林組合としましても皆伐や伐採跡地の提供を含めながら進めていければということですが、産業課長は地元でもありますし、進め方など説明いただければと思います。

○産業課長 杉の伐採跡地に係るかぶの特産に関しては、数年前にも取り組んだ経緯はございま

す。ただ今回この協議会の立ち上げというのは、道路のすぐそばというか、楽なところで栽培しているかぶが増えてきて、連作障害とかでかぶの品質が落ちているという話があったものですから、例えば野種は温海かぶではないとか、本物の温海かぶではないとか、ある一定のガイドラインを設けたい、温海かぶの栽培に関してこれが本当の温海かぶの栽培の仕方です、というガイドラインを設けたいというのが一番考えているところでございます。杉の伐採跡地も当然いいわけですが、それに限らずということで考えております。

○佐藤重夫委員 私もいつも考えておりますが、品種固有のものでもあろうかと思いますが、種の確保が大事ななということで、本来の継承された温海かぶの種をちゃんとした形で残すんだということで、昔はかぶ畑の近くに大根を蒔かない、ということで行ってきましたが、そのようなことも考えながら本来のかぶをブランド化できれば特産品としてなると思いますのでよろしく願います。

○産業課長 そのように考えておりますのでよろしく願います。

○柴田実委員 関連してかぶの話ですけれども、売る立場側からのお願いですけれども、検討課題となると思いますけれども、今残雪の中のかぶというものが朝市に出回っておりまして、大体売れ切れましたが、これが非常に評判がよく、なぜかという産業課長お分かりと思いますが、カリカリとして歯ごたえがいいという状況下にあります。今までの季節感というだけのかぶではなくて、もっと幅広い、我々から言わせていただきますと、山菜が出る前の野菜というところにかぶが出てきているものですから、売る側としては大変助かっております。是非こういう運動を続けていただければ大変ありがたいと思いますし、今緊急雇用で食の語り部ということで、うちのほうには応募があったのですけれども、最終的にはできませんでしたが、そういう緊急雇用の課題もあるようですので、そのことも頭に置きながら是非とも温海の特産ということでのかぶの長い期間の販売方法を研究促進していただければありがたいと思います。

○佐々木真人委員 資料1の1ページの特別会計に墓園事業特別会計ということで載っているわけですが、これについてお分かりになればお知らせ願いたいと思います。というのは温海温泉自治会で共同墓地を持っております。温海地域には五十川、宮名、槇代、組織がどうなっているか分かりませんが、お寺さんから離れた墓地があつて、温海温泉の場合整備料ということで3,000区画あるのですが、約30万円入ってきて、その内10万円が税金で持っていかれる。市長が墓地を民間に分けたいという時期に、市長と話したのですけれども、税務署から鶴岡市民税の均等割、県民税の均等割、事業割とかもろもろかかるものですから、先程申したとおり、せつかく1戸から1,000円ずつ集めて、墓地の整備をするためなのですが、たまたま税務署と関わりがあつたものですから、黙っていればそのままだったのでしょうけれども。市民税の均等割、県民税の均等割、税務署の国税も入ると約90,000円ほど税金がかかる。事業費として3分の2しか使えないという状況であり、何とかしたいということで税務署と何年も協議をして

いるところなのです。こちらのほうの特別会計は市で霊園を持っているということだろうと思いますが、分かれば教えていただきたい。また、税務事務室ができましたので相談に参りたいと思いますのでよろしくお願いします。

○**総務企画課長** この特別会計につきましては、旧鶴岡市で造成したもので、内容についてはこちらに資料もございませんので、後ほど資料とともにお知らせしたいと思いますのでよろしくお願いします。

○**産業課長** 先程かぶの長期間の販売というお話がありました。今しゃりんでも販売しておりますして好評だと聞いております。いつまでも売っていけば良いというものではないと思いますけれども、特に新しい芽を出す前のかぶは非常においしいという話は奥田シェフなども話しておりましたので、春のかぶは確かにおいしいのかなとは思いますが、前にも1年間を通じて販売できないかという話はあったわけですが、その時々状況に応じて考えていかなければならないことだと思います。やはりおいしいときに食べるのが一番いいので、今までは春にとって売るということはなかったわけですが、おいしくて評判がよければ春採りのかぶという形でも宣伝していければと思います。ただ一霞のほうでは種を採るので、春のかぶはあまり採らないということになっていますので、先程言われたとおり、種は種できちんと採って前年の秋に残したかぶは春に採って、漬けて出すという方法はいいのかなと思います。

○**総務企画課長** 先程の墓園事業の関係ですが、旧鶴岡市と申し上げましたが、鶴岡地区と藤島地区の2箇所となっているようです。詳細は後ほど報告させていただきます。

○**斎藤徹委員** 私からは2点ほど、1ページの婚活支援事業、先程の説明の中では温海地域独自で行う予定のようですが、ご他聞にもれず当地域でもこの部分では重要な課題になってるわけですし、今年度の具体的な取組みについて教えていただければと思います。それから私はスポーツクラブネクサスの理事長を仰せつかっている者として、今年度はtotoの補助が切れた部分で予算について相当苦慮していたところですが、市の絶大なる援助の中で何とか予算を立てながら今年度に向けて行っているところですが、そのような中で、今年度から会員1名あたり年間12,000円という形で今のところ100名位の会員がいるわけですが、来年度以降も含めてですが、今年度で丸6年、7年目に入るわけですし、この2年間でこのスポーツクラブ、当地域での形を考えていかなければならないと私自身も思っているところですし、当局でもご存知のように人件費が大きなウエイトを占めていますし、ここ1~2年で形をどうあるべきかを是非皆さんと市の職員の皆さんとともに考えていければと思いますし、今後とも支援をお願いしたいと思っています。

○**総務企画課長** 婚活支援事業の具体的な取組みということでございました。各地域において今年度は地域の特色を活かした婚活イベントを開催しまして、独身男女の相互交流を図るという



ことで実施するわけですがけれども、今現在原案段階で公表できるものができておりません。申し訳ないのでけれども、今後夏に向けて実施したいと考えております。

○総務企画課主幹 スポーツクラブについてですがけれども、市のほうとしても今おっしゃられた認識で対応していきたいということで23年度中にも24年度予算の配分につきましても、5年目を超えました温海、たかだて、鶴岡市の大山地区ですが、旧大山地区につきましても5年を過ぎましたけれども、旧大山地区については法人化ということでtotoの助成をもらえるようになっておりますけれども、温海地域については法人化も難しいだろうからということで、市単独の助成を考えております。市としても今おっしゃられたようにスポーツクラブの支援については一緒に検討してまいりたいと考えておりますので、これからも対応していきたいと教育委員会のほうでも考えております。スポーツ関係ですがけれども、分室が廃止になりましてスポーツ関係の担当がスポーツ課直属という形になりまして、逆に本所でスポーツクラブのことを全体で考えていけるような立場になっておりますので、全体で検討できるような形になっていくのではないかと考えています。

○三浦喜一郎委員 5ページの41番、あつみ温泉イベント実施事業についてお聞きします。黒川能と山戸能の共演事業ということで、確かに誘客効果はあると思いますが、出演をされる方々、団体といたしますか、それなりにご苦労があるようですし、お話を聞くと相当苦労しているようです。今年は土曜日に設定されているようですが役者の中には公務員とかではなくて建設業とか土曜日には休めない方も役者の中にはいるわけです。その辺に無理はないのかどうか、それなりの謝礼等の手立てはなされているのだらうと思いますけれども、特に黒川のほうからは、相当遠方の地からこちらまでわざわざお出でになって公演をされるということは大変なことだろうと思うわけです。受け入れる温泉地域としてはそれによってお客様が一人でも二人でも多く来てくださればありがたいし、街の活性化につながることでありますので、決して悪いという意味ではなくて良い事業だとは思いますが、今申し上げたようなことで実際公演をされる方々に無理はないのかどうかということが1点と、今後この事業をどのくらいの期間にわたって計画されているのか、考えられているのかを参考までお聞きしたいと思っております。

○総務企画課主幹 今後の見通しにつきましては主担当課ではないのですが、公演については前年度に教育課分室のほうで担当しており、引き続き担当することになりましたのでその点については私のほうからお答えしたいと思います。黒川能につきましては上座、下座がございまして1年目に下座、2年目は上座、今年度は下座ということでお願いしましたところ快く黒川能には引き受けていただきました。隔年という形になるので負担ではあるかと思いますが快く引き受けていただいたところです。山戸能につきましては出演される方々が同じメンバーということで大変だということは聞いておりました。ただ大変な中でもせせらぎの能が黒川能と山戸能と地域を越えた能の出演があつみ温泉で見れるということで企画したものですから何とかお願いするというので、3年目も先日何とか引き受けていただいたということで、負担は

あると思いますが引き受けていただいて感謝申し上げているところです。

○支所長 観光商工主幹が所用で欠席なものですから私のほうから今後の見通しについて申し上げます。当初は1年で終わる予定でありましたが、地元の強い要望もあり3年は続けたい、3年間の中で地元自治会長さんのほうにはこの仮設舞台を使った有効な活用をしてほしい、自立できるような体制づくり、組織づくりをしてほしいという話をしております。現在のところ来年から止めるのかという話はありませんけれども、当初の段階では3年間の内に自分たちで有効な活用方法を見出してくださいという話をしております。

○三浦喜一郎委員 分かりましたし、別に止めてもらいたいとかそういう意味で申し上げているのではございませんけれども、ともかくご苦労なんですよ。役者自体は舞台に上がるのは数少ないけれども、ご承知のとおり歌舞伎にしても、お能にしても裏方というのが役者以上の数を揃えないと公演できない。歌舞伎ほどではないけれどもお能のほうも相当の人数が必要です。お能はしゃりんのほうにも要請を受けて出演しているということで、それなりの負担にはなっていることは確実なようです。大変だという声は私も聞いております。でもこの地域の振興のために協力をしていこうという考え方はあるようですけれども、十分主催者側、要請する側として十分その辺の配慮をお願いしたいというのが私の発言の主旨ですので、よろしくお願ひしたいと思います。

○橋本忠志委員 2ページの11であつみ福祉会の事業委託についてですけれども、皆さんご承知のとおり温海地域は超高齢化社会に進んでいる現状でありまして、昨日の福祉会の理事会のデータを見ると、訪問介護については5年前で延べ13,000人が利用していますが、今年は9,000人ということで、急激な訪問介護利用の減少が見られます。この原因は何かということですが、もちろん個人情報、プライバシーの問題、あるいは民間の訪問介護事業が強力に進められている関係かと思われまますが、依然としてミスマッチが起きています。例えば自治会で介護を必要とする方の情報をどの程度持っているのか、その情報を把握しない状況で要介護者に事故が起こったり、トラブルが起こったときには地域の中での福祉会のイメージがダウンするわけですので、この辺の情報を自治会あるいはいろんな形で在宅介護を必要とする家族を把握し、包括的な福祉サービスを提供したいと思いますので、皆さんから常日頃ご指導なり、情報なりを提供していただければ福祉会としても万全な体制で訪問介護サービスが提供できるのではないかと思いますので、あくまで要望ですけれども福祉会だけでなく皆さんからの常日頃のご指導とか情報を提供していただければということをお願い申し上げます。

○市民福祉課長 ただいまの件については包括支援センター等と連携を取りながら対応してまいりますので、ご要望として受け止めたいと思います。

○佐々木真人委員 三浦さんの能の件は、あつみ温泉魅力づくり推進委員会でも承知しておりま

す。今回の下座の演目は紅葉狩り、山戸能は羅生門ということですので、どうぞ皆さんお出でいただければと思います。

7ページの海岸地域避難通路整備ということで、地震・津波の関係で昨年海岸線に全部調査に入ったということは伺っていて、その具体的な避難経路を整備していくという事業かと思えます。それはそれでよろしいのですけれども、住民から温海温泉でもどの辺まで来るのか、海拔何mだとか、というような高齢者の皆さんとかそういった方々が関心あって質問もあるのですけれども、2km入ったところでどの程度の想定をすればよいのか、皆目どこに聞いても分からないという状況で、市の防災の方に問い合わせてもまだ何も返答がないということで、集落全体での地震の避難訓練、地震津波の訓練となると避難場所も違ってきますし、想定が今現在こちらで想定している避難経路と、大震災を受けてどのくらいを日本海側の新しい想定としているのか、避難経路の整備事業はよろしいのですが、その辺の情報提供により全戸の避難訓練もやっていきたい、今もやってはいますが、やり方も変わってくると思うのでその辺のところも教えていただきたいと思えます。

○**総務企画課長** 今回の震災を受け、県で川の遡上などの最悪の条件を想定して解析作業を行いまして、平成23年3月6日に新たに津波浸水域予想図を作成し公表しました。それにつきまして温海地域の海岸線10集落については各自治会長さんにご説明申し上げ、その後10集落の役員の皆様を対象に、ふれあいセンターに県の職員が来て説明会を行いました。海岸線に沿った10集落については喫緊の課題と捉えて説明いたしましたが、その他の地域については説明しておりません。一番心配なのは川、海岸線から少し入った地域だと思いますので、その地域にもご説明に伺わなければならないと思っています。その点については今後こちらのほうで検討してまいりたいと思えますのでよろしくお願いします。

○**奥井厚会長** かなり活発な質問が出されておりますが、最後の質問ということで柴田委員からお願いします。

○**柴田実委員** 6ページの42の羽越しな布振興事業ということで継続事業のことをごさいますけれども、この中で後継者の育成事業ということで説明があるわけですが、これをもっと具体的に説明していただきたいということと、それから45の日沿道の観光振興事業ということで、あつみ温泉インターチェンジができたわけですが、3月の時点で遊佐町ではインターチェンジとともに、サービスエリア、パーキングエリアの要請に町長自ら出ているわけです。私どもも自治会を中核として是非とも地場産業を売り出すためにパーキングエリア、サービスエリアの設置について自治会を中核として運動を展開していきたいと考えているのですけれども、その辺について建設事務室長のほうで考えがあればお聞かせ願いたいと思えます。

○**産業課長** 羽越しな布の後継者育成事業ということですが、これについては研修生の受入れの部分だと思います。後で間違っていたら訂正しますけれども。

○**建設事務室長** 計画段階評価が昨年度行われまして、住民への説明の中で新直轄だとパーキングエリアとかは設置しないというのが基本的な建前ですけれども、山北の会場にも出席させていただきましたがそちらでも同じような話が出ています。温海の会場でも同じような話が出ていますけれども、基本は基本であるわけで、要望は要望で酒田河川国道事務所のほうでも聞いていっていますので、設置できる、できないを私の口からは言えませんが、国のほうもそういう要望があるというのは理解していると思います。これくらいしか答弁できませんが、引き続き国のほうとも話をしていきたいと思います。

○**支所長** ただいまの日東道のパーキングエリア、サービスエリア、よく沿線上に必要だということを知るのですけれども、あいさつでも申し上げましたが、この10年間で今後の戦いであろうと考えております。パーキングエリア、サービスエリアを設置した際にそこはいいのですけれども、下に降りてくるのか、そこだけで用を足してしまえば、温海は単なる通過点になるのかなと思っております。温海の特産品を売り出すためには非常に大事なのですが、むしろ鼠ケ関で降りてもらってあつみ温泉インターチェンジから乗る、いらがわインターチェンジから乗る、逆にいらがわインターチェンジで降りてもらって鼠ケ関で乗るとか、やはり高速もそうですけれども、国道7号も通っていただかないとこの温海地域がどうなるのかなと思っています。今後必要性については十分検討してまいりたいと思います。

○**奥井厚会長** まだご意見あるかと思いますが、時間が1時間半も経過しましたのでここで5分間休憩を取って次に進みたいと思います。よろしく御願います。

－ 休憩 －

○**奥井厚会長** それでは再開いたします。活発なご意見をいただきまして予定よりも大分延長した時間帯になりましたので、(2)の提言並びに提言に基づく事業計画について担当のほうから説明をお願いします。

－ 資料説明 －

五十嵐総務地域振興主査

○**奥井厚会長** 審議会の提言書と併せた今年度からの事業計画について説明がありました。皆さんからご意見がありましたらお願いします。

○**佐藤重夫委員** 提言に基づく事業計画が説明ありましたが、我々も前回から関わってきた絡みもあり、よくまとまったなということと、森林公園、協働の森の構想を持ちながらエリアを策定し地域のいろいろな文化や伝統的なものを拾いながらやっているということで大変良かった

たと思います。是非地域ともコミュニケーションをとりながら、もっと深く入っていきながら行ってはどうか。またこのエリアだけでなく、他の地域もある程度把握していないと後々大変かなということで、是非そのことについても進めていただきたいと思います。高齢化が進んでいる中で、今やらないとできないかなと思うことで山林の境界確認ということが悩みでございますので、今この事業を行って地域全体でやっていかないと伝統文化も分からなくなるということで大いに進めていただきたいと思います。

#### 4. 協議

○奥井厚会長 ただいまの点についてはご意見ということでよろしく申し上げます。その他ありませんか。ないようですので4の協議に入らせていただきます。(1)の平成24年度温海地域審議会の内容について説明をお願いします。

— 資料説明 —  
総務企画課長

○奥井厚会長 ただいまの提案について皆さんからの質問、ご意見ありましたらお願いします。ないようですので、このような内容で2年間進めていくということで確認をお願いします。協議2のその他ということで事務局からあればお願いします。

○総務企画課長 事務局としては特にございません。

#### 5. その他

○佐藤重夫委員 1期2年間一緒に審議会委員として努めたわけですけれども、話し合いも会議ではされましたけれども、委員の方々の懇談の場も必要かなという事で考えを持っています。委員の方々もよければどうかなと思いますので提案したいと思います。

○奥井厚会長 佐藤副会長から反省会という意見がございました。いかがでしょうか。

○支所長 大変貴重なご意見をいただきありがとうございます。今日最後なので今日行うということはできませんので、皆さんの賛同がいただければ、6月中に新たな委員が決定し、7月下旬に第2回の審議会を予定しておりますので、その会議後に会費制で行いたいと思います。

○奥井厚会長 支所長のほうからそのような提案をいただきましたので、その方向で進めていただきたいと思います。  
その他ございませんか。佐藤美代子委員御願います。

○佐藤美代子委員 委員に再選されなければこれが最後となりますので意見を申し上げます。先程もありましたが日沿道の件ですけれども先日しゃりんに行きましたらマルバシャリンバイはどこ、と聞かれて、しゃりんから10kmくらい北のほうですといいましたら、高速できたので戻れないという意見でして、結局鼠ヶ関のほうにもマルバシャリンバイがあることからそちらを案内しました。先程のパーキングに何かというところでは、その近くに説明書などがあるところがあれば、自分の降りるインターチェンジ、今回であればいらがわで降りれば見られるわけです。10年間何もなくてそのまま通過させればさらに通過点になることは確実なことだと思いますので、パーキングに案内書などをおける場所を設置していただければよいのかなと思います。この間のお客さんは戻りたくはないということでした。かぶのモニュメントのところといいましたが、トンネルで来たので何も見ないできたということで、お客さんの意見としては戻りたくない、南に行く場合は戻りたくない、北に行く場合にはしゃりんで見ることができるのですけれども、降りてしまったあつみ温泉インターチェンジからはどこにも行かないでまっすぐ新潟のほうに帰るといったコースを取ると思いますので、少し考えていただければと思いました。委員をさせていただきましてありがとうございました。この次選ばれるとは限りませんので発言させていただきました。

○奥井厚会長 ただいまの意見は要望ということでよろしいですか。それではその他ありませんか。五十嵐淳子委員お願いします。

○五十嵐淳子委員 私も最後になるかもしれませんが、言いそびれてしまったところがありまして、今年の4月「ほとりあ」という愛称で大山の付近に市の自然学習交流館ができたかと思うんですけれども、自然学習環境教育に力を入れて鶴岡市で運営していくということで、その施設のほうにあつみ杉の積木ですとか、しな織製品も展示されていると聞きました。是非大山周辺にとどまらず温海もどんどん絡んでいって、提言書にもありましたが子どもを対象とした自然体験教室の実施の際に出前授業などの協力を仰いでもいいのではないかと思います。市民レベルでも私もボランティアスタッフに登録しているのですけれども、是非一緒に共同でやっていけたら面白いのではないかと思いますのでこの場をお借りして発言したいと思います。2年間ありがとうございました。

○産業課長 積み木の体験は保育園で今実施しております。希望があれば申し出てください。

○佐藤隆委員 PTAの代表として出席させていただいておりますので発言させていただきます。先程からの高速道路絡みではないのですが、地域振興ということで高速道が開通したことは喜ばしいことですが、インターのできた五十川地域とか、温海地域でも浜中、宮名でも同じような問題が発生しているということで聞いておりますけれども、高速道路ができたことによって地域の交通量が増えたということで、児童・生徒が通学する時間帯に非常に通勤のための車両が増えまして、そのことによって通学する児童の危険が増しているという問題が発生して

おります。五十川小学校に關しましては学校を通じまして鶴岡警察署並びに庄内総合支庁の道路計画課のほうに改善を求めているところです。要望書という形で庄内総合支庁のほうに提出したということを校長から聞いております。多くの子どもが通学するわけではありませんが、ほんの10分間くらいの中に50台くらいの車が狭い道を通るという問題が出ておりますので、今後こういった地域振興の中で道路改良というものに対し、地域住民の安全確保についても併せて検討していただかなければならないのかなと考えておりますし、そういった要望は出していますが、温海地域で、庁舎のほうで把握していないということではまずいと思いますのでお話をさせていただきました。以上です。

○建設事務室長 補足的に説明させていただきますが、支所長あいさつでも触れておりましたが、4月の頭に7号がストップしたこともありまして、道路災害時の迂回路というか交通の確保について、市と県と酒田河川国道事務所、警察と4者で話をしております。その中でも五十川の、特に大型も降りてくるといふ情報も出てきておりますし、岩川の浜中集落のほうでも交通量がかなり増大しているということで、安全対策についても話題として上がってきておりますので、今週の会議1回で終わりということではなくて、これからも引き続き会議を持っていくということです。庄内総合支庁のほうでもその話は把握しておりますので、話題として話し合っていきたいと考えております。

○奥井厚会長 この問題についてはどこの集落でも関係ある集落では話題になっておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。その他ありませんか。柴田委員お願ひします。

○柴田実委員 先程の質問の中でしな布の振興事業の件ですけれども、研修生の対象補助だといふ話を聞きましたけれども、今一番危機感があるのは研修生の新人を育てるのも大変大事ですけれども、「しなうみ」の人が10年間同じ8名くらいと少ない感じで、後期高齢者の方ですから特に大事にしなくてはならないということは分かっておりますが、その対策をぜひとも早急にやっていただきたい。織る人は一杯いますけれども、しなをうむ人は大変少ないです。それが原反の生産高によりますので、大変重要な問題だと思ひます。是非その辺を担当課長さんのほうから対策を考えていただきたいといふ要望が一つ。

また、要望だけでなく是非とも褒めていただきたい話があります。実は連休の前に、これは観光協会の話になるかも知れませんが、庁舎の室長さんがゴールデンウィーク前にあつみ温泉入口に大変大きくて立派な標識があるのですが、その標識を見ますと槇代方向に矢印が行ってしまっている。中学校があり、特養があり、にぎやかできれいなところがあるものから、なおさらあつみ温泉のお客さんがそちらに行くといふクレームが出ました。室長さんに相談申し上げましたら直ちに対策を講じてくれまして、鶴岡市から三川の庁舎まで、最終的には酒田の河川国道事務所の特別のお計らいにより、「直進あつみ温泉」といふ案内看板をすぐに入口のところに立てていただきましたし、観光協会のほうにも特段のご許可をいただいて、「あつみ温泉へ」といふ立て看板を立てさせていただきました。特別な許可です。1ヶ月もし

ないうちに、連休で我々温泉旅館業としては大変なかき入れ時ですから、そこをスムーズに対策を講じていただいて、おかげさまで上々ということは皆さんご存知のことと思いますが、その影には本当によく手配をして、国土交通省は悪い評判しか立っていませんが、うちのほうの国土交通省は違う、と胸を張って言える仕事をしていただいたことを皆さんに報告し、御礼を申し上げたいと思っています。

○**奥井厚会長** 話は尽きたと思いますけれども、今日本所のほうから2名お出でいただいておりますので、今日の審議会の感想をお願いして閉会したいと思います。

○**三浦裕美専門員** 皆様には2年間ということでこの審議会でご意見、ご提言をいただきましてありがとうございました。温海庁舎の事務局のほうもスムーズな進行、昨年提言として出させていただいたときにも皆様のご協力の下にできたことを感謝しております。今日も活発なご意見、ご提言ということでいただいております。先程「ほとりあ」の件も出ましたので、実際の管理運営は大山自治会というところがやっていますが、市の嘱託職員で学芸員も入っておりますので、企画運営という点でもこの話を繋げていきたいと思っています。今日皆様から出されました意見についても本所のほうに関連することがあれば繋いでいきたいと考えております。今日は貴重なご意見、ご提言をいただき勉強になりました。ありがとうございました。

○**前田哲佳専門員** 今年度から地域振興課に配属になりました。以前は櫛引庁舎のほうで地域審議会にも関わらせていただきまして、今日は温海地域の地域審議会を拝見させていただき、大変活発なご意見が飛び交っていたと私は見ておりました。今年度温海庁舎のほうで取り組まれる部分につきましては、かぶですとか、地域の資源を活かした取組みということに熱が入っておったように感じておりました。地域振興課のほうで私が担当しておるのが婚活関係の担当をさせていただいております。昨年度から地域振興課で婚活事業に取り組んでおまして、今年度全地域に広げての取組みとさせていただきたいと考えておりますので、皆様方からもお近くに未婚の男性、女性がおりましたら参加していただきたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。

○**奥井厚会長** これで第1回目の審議会を終わりたいと思います。今話があったように婚活の事業は将来とも続く事業でございますし、喫緊の課題でもございます。温海庁舎を中心にしながら何ができるのか、練っていただき、自治会長会の中でも話題になっておりますので、連携を取ってお願いしたいと思います。

## 6. 閉会（午後4時10分）総務企画課長